

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393200171
事業所名	グループホーム奏幡豆

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	地域に出ていく機会は、ホーム周辺の散歩やドライブで、地域の人たちとの交流はほとんどない状態が続いている。 隣の畑で農作業をする人と挨拶を交わし、しばしば採れたての野菜をいただいている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	過去1年間の6回の運営推進会議は、すべて書面開催となった。 ホームの運営状況(入居状況、平均年齢、要介護度、入・退去、入・退院状況、事故報告、ヒヤリハット等)の報告に加え、利用者の近況(行事、活動等)を書面で伝えている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	書面開催となった運営推進会議の報告書を、管理者が会議メンバー(市の担当者、地域包括支援センター職員、自治会長等)を訪問して手渡し、情報交換をしている。 市内のグループホームで構成される「地域を守る会」には市の担当者の出席があり、場合によっては他の介護施設(特養等)や医療機関(医師)が参加することもある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	コロナの感染状況が落ち着いてきて、条件付きの家族面会が緩和の方向に向かっている。 1家族2名限定、15分間、別室での面会を認めていたが、時間制限を60分に緩和し、家族との外出・外食も可能としている。 家族来訪時には、管理者や職員が意見を聞き取っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	—
総合評価		○

【備考欄】

過去1年間の6回の運営推進会議は、すべて書面開催となった。
-------------------------------

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	4. 市町村との連携
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								